

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2026年6月25日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	提出材料	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法
O1A80 1 (1A80 1)	PD-L1タンパク (IHC) SP263 (TAPスコア)	未染標本 スライド	未染標本 スライド 4枚	Z10 (t)	室温	5~10	2700 ※8	免疫組織 化学染色法

※8：病理判断料

● PD-L1タンパク (IHC) SP263 (TAPスコア) の提出方法

- 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です)
なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 材料は胃癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 組織は4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。
- パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。



● PD-L1タンパク (IHC) SP263 (TAPスコア)

免疫チェックポイント阻害薬の効果予測に有用な検査です。

PD-L1は腫瘍細胞表面に発現する物質であり、免疫細胞表面のPD-1に結合することで免疫機能を抑制することが知られています。この結合を阻害する免疫チェックポイント阻害薬の奏功とも深く関係があり、様々な評価方法でPD-L1タンパクの発現を確認することが重要視されています。

TAP (Tumor Area Positivity) スコアは近年注目されているPD-L1タンパクの評価方法であり、全腫瘍細胞面積のうち、PD-L1陽性の腫瘍細胞 (TC) 及びPD-L1陽性の免疫細胞 (IC) の占める面積の割合として定義されます。

本検査は、HER2陰性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の一種である「チスレリズマブ (商品名：テビムブラ®)」の適切な投与を行うための補助に用いる検査です。

▼検査要項

検査項目名	PD-L1タンパク (IHC) SP263 (TAPスコア)
項目コード (旧項目コード)	親：01A80 1 (1A80 1) PD-L1タンパク (IHC) SP263 (TAPスコア) 子1：(1A81 9) TAPスコア 子2：(1A82 6) 医師による判定
検体量	未染標本スライド 4枚
容器	Z10 (t) オブジェクトケース
保存方法	室温保存してください
所要日数	5~10日
検査方法	免疫組織化学染色法
報告内容 (単位)	TAPスコア：1未満、1以上5未満、5以上10未満、10以上、算出不可 (%) 医師による判定：報告コメントとして判定した医師名を報告いたします。
検査実施料	2700点 (「N005-3」PD-L1タンパク免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製)
判断料	130点 (病理判断料)

<PD-L1タンパク (IHC) SP263 (TAPスコア) >の報告内容

TAPスコア (%)
1未満
1以上5未満
5以上10未満
10以上

TAP (Tumor Area Positivity : 陽性細胞面積比) のみの結果報告となります。

●参考文献

Liu C, et al : Diagn Pathol 18 (48) : 1~10, 2023. (検査方法参考文献)

Qiu MZ, et al : BMJ 385 (8431) : e078876, 2024. (臨床的意義参考文献)